

安芸高田市

**空き家所有者等意向調査
報告書**

建設部住宅政策課

意向調査の概要

平成26年度の市内空き家実態調査で明らかとなった1,902戸の空き家の所有者等を対象に、「賃貸」「売買」「自己管理」等空き家の意向について調査し、空き家の積極的な活用と管理の適正化に資することとする。

調査の方法

●アンケート用紙送付及び空き家対策専門員による聞き取り調査

●実施期間

平成26年12月14日～平成27年2月27日

意向調査 結果概要

●町別集計

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	合計
空き家戸数	390戸	214戸	293戸	407戸	263戸	335戸	1,902戸

意向調査戸数	330戸	160戸	260戸	365戸	219戸	299戸	1,633戸
意向回答戸数	230戸	96戸	164戸	229戸	127戸	183戸	1,029戸
回答率	69.7%	60.0%	63.1%	62.7%	58.0%	61.2%	63.0%

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	合計
自分または関係者の住宅	222戸	93戸	162戸	222戸	122戸	174戸	995戸
不明	1戸	戸	戸	戸	戸	1戸	2戸
ところあたりがない	2戸	1戸	1戸	3戸	1戸	4戸	12戸
売却、譲渡済	1戸	1戸	1戸	1戸	戸	1戸	5戸
すでに解体済	4戸	1戸	戸	1戸	3戸	3戸	12戸
無回答	戸	戸	戸	2戸	1戸	戸	3戸
合計	230戸	96戸	164戸	229戸	127戸	183戸	1,029戸

●町別集計＜参考資料：空き家の状態＞

		吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	合計	割合
優良空き家	修理不要	200戸	80戸	80戸	114戸	73戸	111戸	658戸	34.6%
	若干修理必要	116戸	81戸	112戸	167戸	97戸	101戸	674戸	35.4%
不良空き家	かなり修理必要	50戸	33戸	49戸	70戸	48戸	82戸	332戸	17.5%
	修理不可能	24戸	20戸	52戸	56戸	45戸	41戸	238戸	12.5%
合計		390戸	214戸	293戸	407戸	263戸	335戸	1,902戸	100.0%

			合計	回答割合
空き家の状態別回答数・割合	優良空き家	修理不要	381戸	57.9%
		若干修理必要	380戸	56.4%
	不良空き家	かなり修理必要	170戸	51.2%
		修理不可能	98戸	41.2%
合計			1,029戸	

空き家を「売却」、「賃貸」したい方の意向集計

1. 「売却」「賃貸」したい方の集計

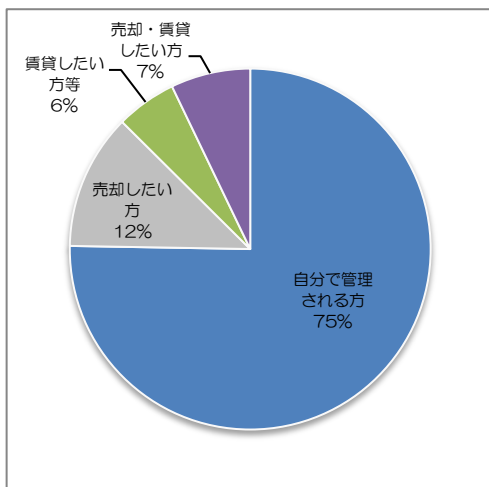
●町別集計

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	合計
1 売却したい方	41戸	16戸	11戸	15戸	17戸	21戸	121戸
2 賃貸したい方	11戸	5戸	6戸	11戸	10戸	11戸	54戸
3 売却・賃貸したい方	16戸	5戸	20戸	11戸	9戸	10戸	71戸
合計	68戸	26戸	37戸	37戸	36戸	42戸	246戸

空き家を「売却」「賃貸」したい方の町別割合	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	合計
	30.6%	28.0%	22.8%	16.7%	29.5%	24.1%	24.7%

グラフ：空き家の今後の活用

空き家意向調査戸数 995戸



全体では「自分で管理される方」が75%、「売却・賃貸したい方」が25%となっている。
町別では、「吉田町」「甲田町」「八千代町」の割合が高くなっている。
「売却・賃貸したい方」の中では、「売却したい方」が多い。

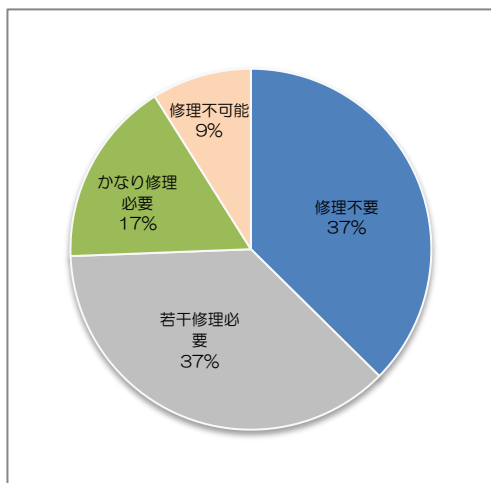
2. 「売却」「賃貸」したい方の空き家の状態

●状態別集計

N = 246戸

	売却したい方	賃貸したい方	売却・賃貸したい方	計
1 優良空き家	26.4%	57.4%	40.8%	37.4%
2	38.8%	25.9%	42.3%	37.0%
3 不良空き家	21.5%	14.8%	9.9%	16.7%
4	13.2%	1.9%	7.0%	8.9%

グラフ：「売却」「賃貸」したい方の空き家の状態



「修理不要」「若干修理必要」がともに37%で、「優良空き家」が全体の7割を占めている。

空き家調査集計

1. 空き家を解体した理由

●町別集計（調査により「すでに解体済」と答えられた方のみの数値）

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	合計
1 建物が一部崩壊、傾いて危険なため	1戸	戸	戸	戸	戸	1戸	2戸
2 土地売却のため	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
3 近隣からの通報や苦情があったため	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
4 誰も利用しなくなったため	1戸	戸	戸	1戸	2戸	1戸	5戸
5 別用途での利用のため	1戸	戸	戸	戸	戸	戸	1戸
6 建て替えのため	戸	1戸	戸	戸	戸	戸	1戸
7 その他	1戸	戸	戸	戸	1戸	1戸	3戸
8 無回答	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
合計	4戸	1戸	戸	1戸	3戸	3戸	12戸

2. 空き家の建築時期

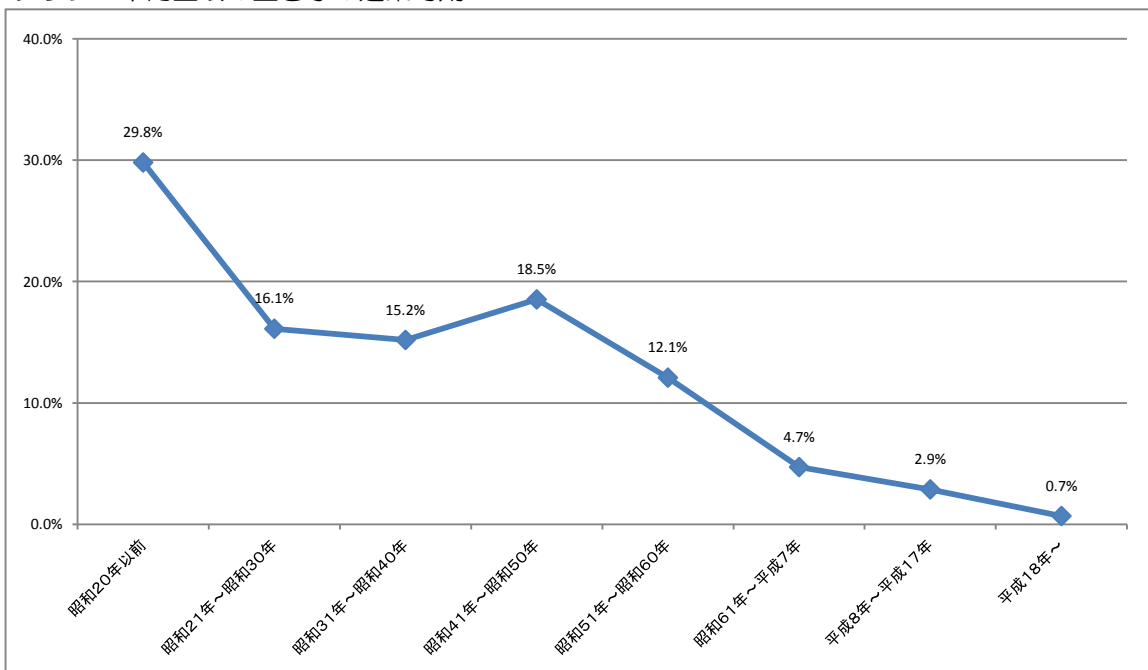
●町別集計

(表中の割合は、「不明」・「無回答」を除く)

N= 693戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 昭和20年以前	28.0%	23.8%	37.4%	40.1%	17.4%	23.3%	29.8%
2 昭和21年～昭和30年	14.5%	8.8%	18.0%	14.4%	19.3%	20.5%	16.1%
3 昭和31年～昭和40年	15.5%	13.8%	12.2%	13.9%	18.3%	17.8%	15.2%
4 昭和41年～昭和50年	21.8%	28.8%	14.4%	14.9%	21.1%	15.8%	18.5%
5 昭和51年～昭和60年	10.4%	16.3%	13.7%	9.9%	11.9%	13.7%	12.1%
6 昭和61年～平成7年	4.7%	6.3%	2.9%	4.0%	9.2%	3.4%	4.7%
7 平成8年～平成17年	4.7%	2.5%	1.4%	1.5%	1.8%	4.8%	2.9%
8 平成18年～	0.5%	0.0%	0.0%	1.5%	0.9%	0.7%	0.7%

グラフ：市内全域の空き家の建築時期



全体では「昭和20年以前」の建物が最も多く、建築時期が新しくなるほど減少傾向にあるが、「昭和41年～50年」にかけて建築された建物が一時多くなっている。
町別では、「昭和20年以前」は「高宮町」が最も多く、「昭和41年～50年」は「八千代町」が最も多くなっている。

3. 空き家の現状

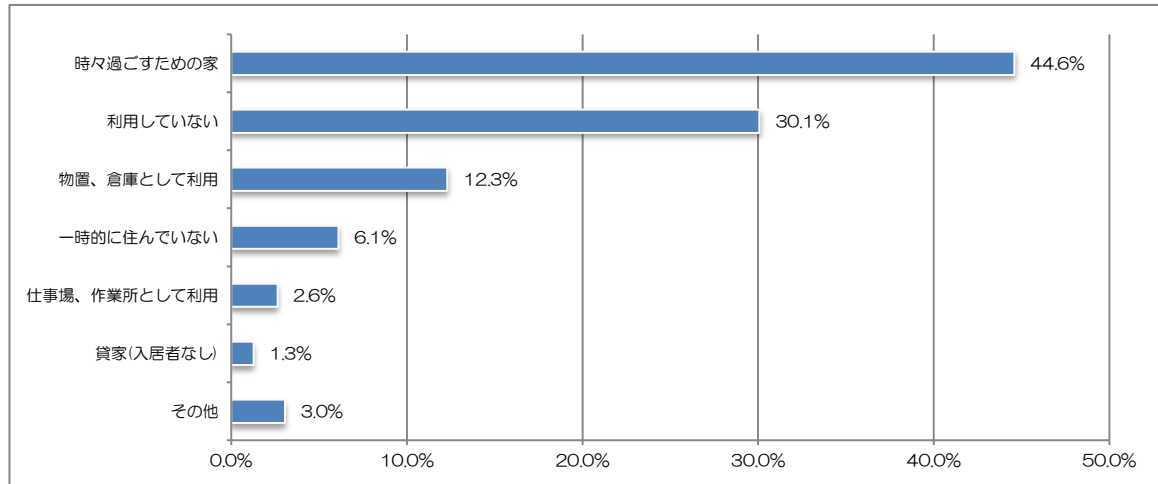
●町別集計

(表中の割合は、「常時住んでいる」「貸家(入居者あり)」「無回答」を除く)

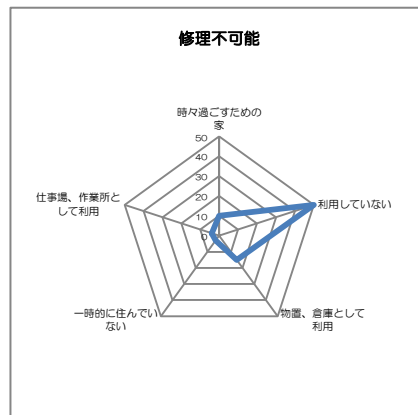
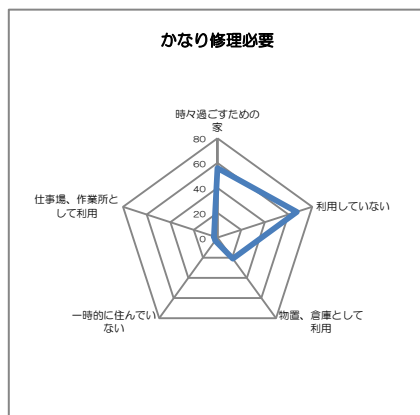
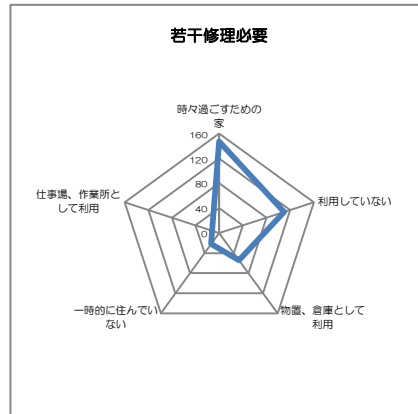
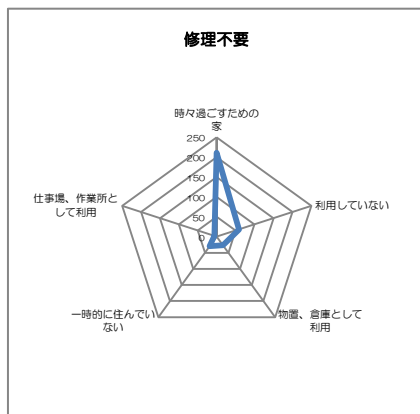
N = 951戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 一時的に住んでいない	6.6%	4.7%	5.7%	6.2%	5.9%	6.5%	6.1%
2 時々過ごすための家	39.8%	32.9%	51.6%	49.3%	36.4%	49.7%	44.6%
3 仕事場、作業所として利用	1.9%	4.7%	1.9%	3.3%	0.8%	3.6%	2.6%
4 物置、倉庫として利用	10.0%	23.5%	13.4%	10.0%	14.4%	10.1%	12.3%
5 貸家(入居者なし)	1.4%	3.5%	0.0%	0.0%	2.5%	1.8%	1.3%
6 利用していない	38.4%	28.2%	26.8%	26.1%	37.3%	23.7%	30.1%
7 その他	1.9%	2.4%	0.6%	5.2%	2.5%	4.7%	3.0%

グラフ：市内全域の空き家の現状



グラフ：空き家の状態別



全体では「時々過ごすための家」が44%で最も多く、続いて「利用していない」が30%となっている。
 町別では、「時々過ごすための家」では「美土里町」が最も多く、「利用していない」では「吉田町」が最も多くなっている。
 空き家の状態別では、修理が必要な空き家になるほど「時々過ごすための家」が少なくなり、「利用していない」が多くなっている。

4. 空き家で過ごす期間

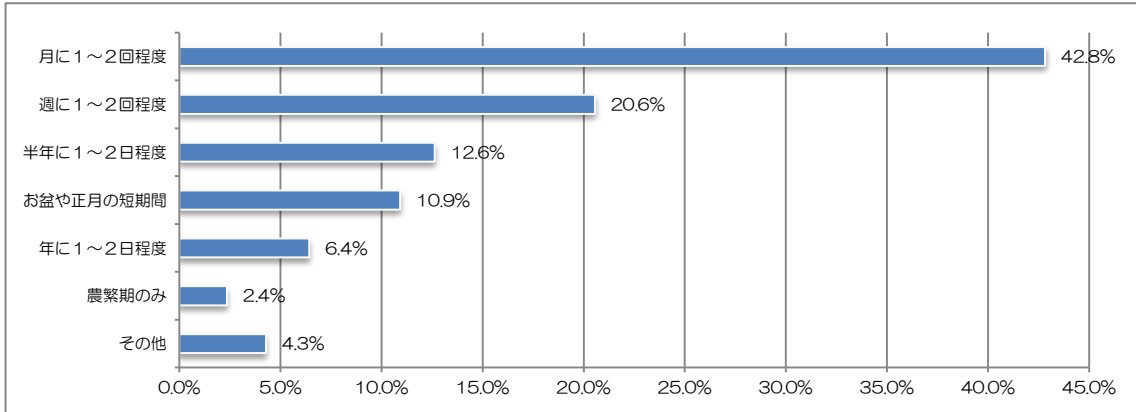
●町別集計

(表中の割合は、「一時的に住んでいない」「時々過ごすための家」のうち「無回答」を除く)

N= 467戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 週に1~2回程度	15.2%	31.3%	18.2%	24.1%	8.0%	26.9%	20.6%
2 月に1~2回程度	42.4%	34.4%	30.7%	54.5%	40.0%	45.2%	42.8%
3 半年に1~2回程度	13.0%	12.5%	15.9%	9.8%	18.0%	9.7%	12.6%
4 年に1~2回程度	9.8%	3.1%	10.2%	3.6%	8.0%	3.2%	6.4%
5 農繁期のみ	2.2%	3.1%	1.1%	1.8%	4.0%	3.2%	2.4%
6 お盆や正月の短期間	13.0%	6.3%	20.5%	5.4%	18.0%	4.3%	10.9%
8 その他	4.3%	9.4%	3.4%	0.9%	4.0%	7.5%	4.3%

グラフ：市内全域の空き家で過ごす時期



全体では「月に1~2回程度」が42%で最も多く、続いて「週に1~2回程度」が20%となっており、月1回以上過ごされる空き家が全体の約6割を占めている。

町別では、「月に1~2回程度」の「高宮町」が最も多く、続いて「向原町」となっている。

5. 空き家に住まなくなった時期

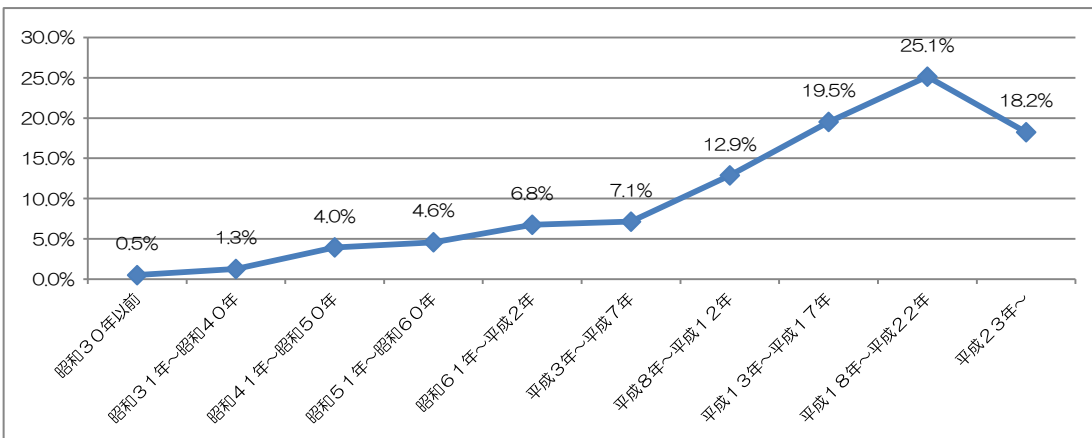
●町別集計

(表中の割合は、「不明」「無回答」を除く)

N= 784戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 昭和30年以前	0.6%	0.0%	0.8%	1.1%	0.0%	0.0%	0.5%
2 昭和31年~昭和40年	1.7%	0.0%	1.6%	1.1%	1.9%	0.7%	1.3%
3 昭和41年~昭和50年	2.3%	7.8%	5.5%	5.1%	2.9%	2.1%	4.0%
4 昭和51年~昭和60年	2.3%	9.4%	4.7%	4.0%	4.8%	5.7%	4.6%
5 昭和61年~平成2年	6.9%	4.7%	10.2%	5.1%	5.8%	7.1%	6.8%
6 平成3年~平成7年	8.1%	9.4%	7.9%	8.5%	2.9%	5.7%	7.1%
7 平成8年~平成12年	12.7%	14.1%	11.0%	13.6%	15.4%	11.4%	12.9%
8 平成13年~平成17年	15.0%	14.1%	22.0%	19.9%	26.0%	20.0%	19.5%
9 平成18年~平成22年	26.0%	23.4%	20.5%	28.4%	23.1%	26.4%	25.1%
10 平成23年~	24.3%	17.2%	15.7%	13.1%	17.3%	20.7%	18.2%

グラフ：市内全域の空き家に住まなくなった時期



全体では平成8年以降空き家が増加しており、「平成18年~22年」が最も多くなっている。

町別では、「平成18年~22年」にかけて「高宮町」が最も多くなっている。

6. 空き家となった理由

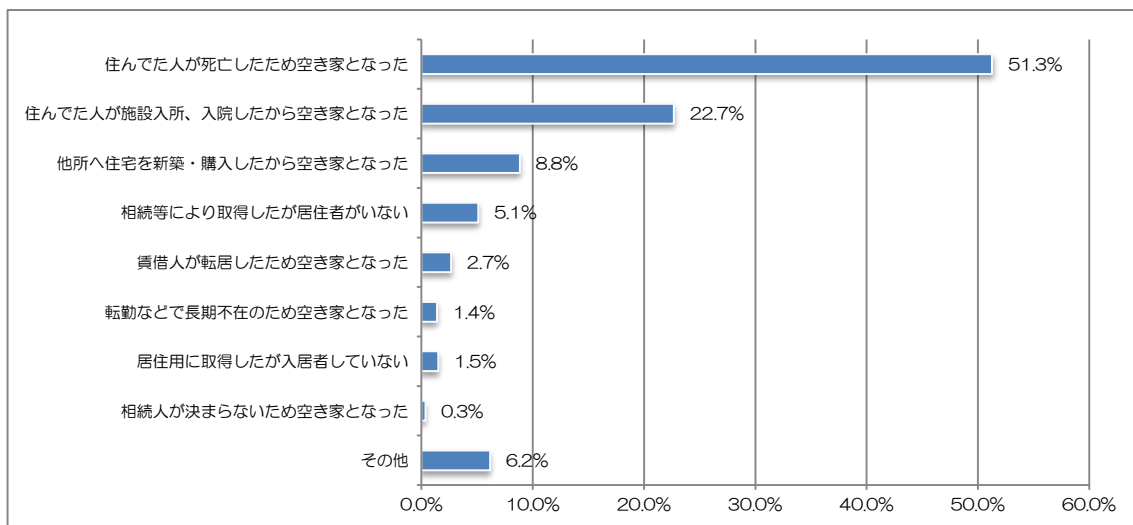
●町別集計

(表中の割合は、「無回答」を除く)

N= 860戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 住んでた人が死亡したため空き家となった	50.5%	36.1%	56.0%	51.1%	52.7%	54.2%	51.3%
2 住んでた人が施設入所、入院したから空き家となった	20.1%	20.8%	22.7%	27.9%	24.5%	19.0%	22.7%
3 他所へ住宅を新築・購入したから空き家となった	9.3%	15.3%	9.9%	5.8%	10.0%	7.2%	8.8%
4 転勤などで長期不在のため空き家となった	0.5%	2.8%	1.4%	1.6%	0.0%	2.6%	1.4%
5 居住用に取得したが入居者していない	1.0%	4.2%	0.7%	1.1%	1.8%	2.0%	1.5%
6 賃借人が転居したため空き家となった	4.1%	2.8%	1.4%	0.5%	2.7%	4.6%	2.7%
7 相続等により取得したが居住者がいない	6.2%	5.6%	1.4%	6.3%	3.6%	6.5%	5.1%
8 相続人が決まらないため空き家となった	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
9 その他	6.7%	12.5%	6.4%	5.8%	4.5%	3.9%	6.2%

グラフ：市内全域の空き家になった理由



7. 空き家の管理者

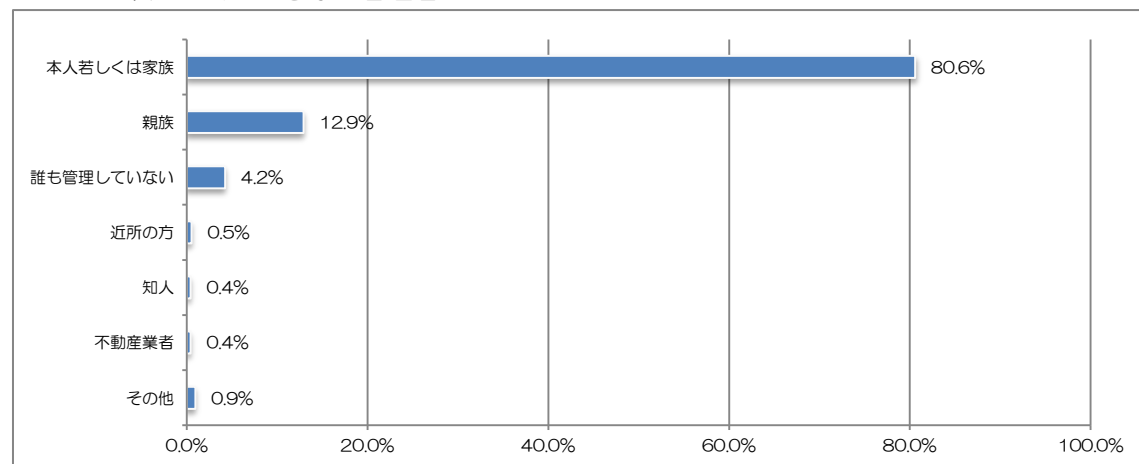
●町別集計

(表中の割合は、「無回答」を除く)

N= 968戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 本人若しくは家族	79.7%	81.8%	81.1%	80.8%	77.5%	82.5%	80.6%
2 親族	12.0%	10.2%	15.7%	13.6%	14.2%	11.1%	12.9%
3 近所の方	0.5%	1.1%	0.0%	0.9%	0.8%	0.0%	0.5%
4 知人	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.6%	0.4%
5 不動産業者	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.4%
6 誰も管理していない	6.0%	3.4%	3.1%	4.7%	4.2%	2.9%	4.2%
7 その他	0.9%	3.4%	0.0%	0.0%	1.7%	1.2%	0.9%

グラフ：市内全域の空き家の管理者



8. 空き家の維持・管理（草刈り等）の割合

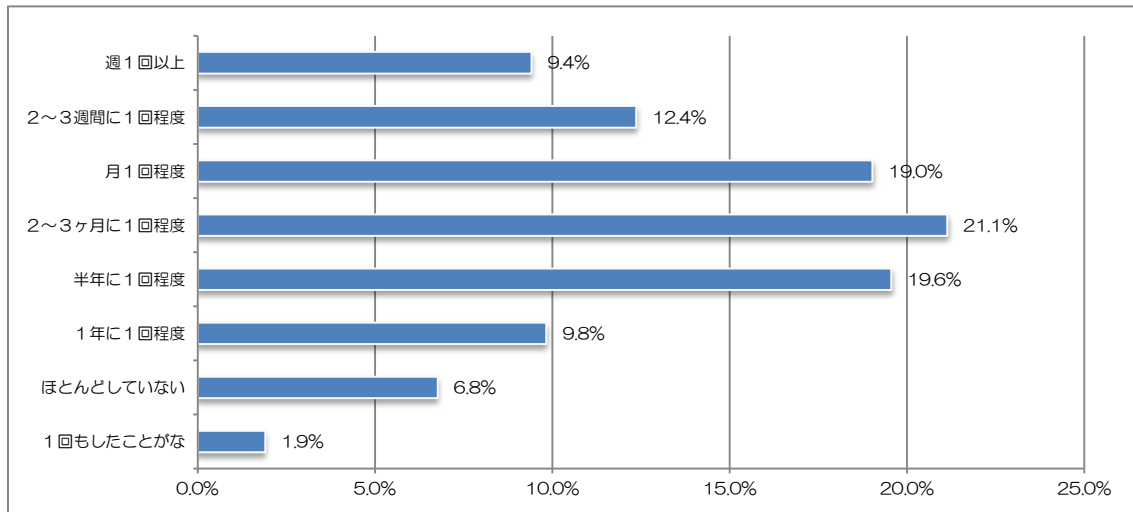
●町別集計

(表中の割合は、「無回答」を除く)

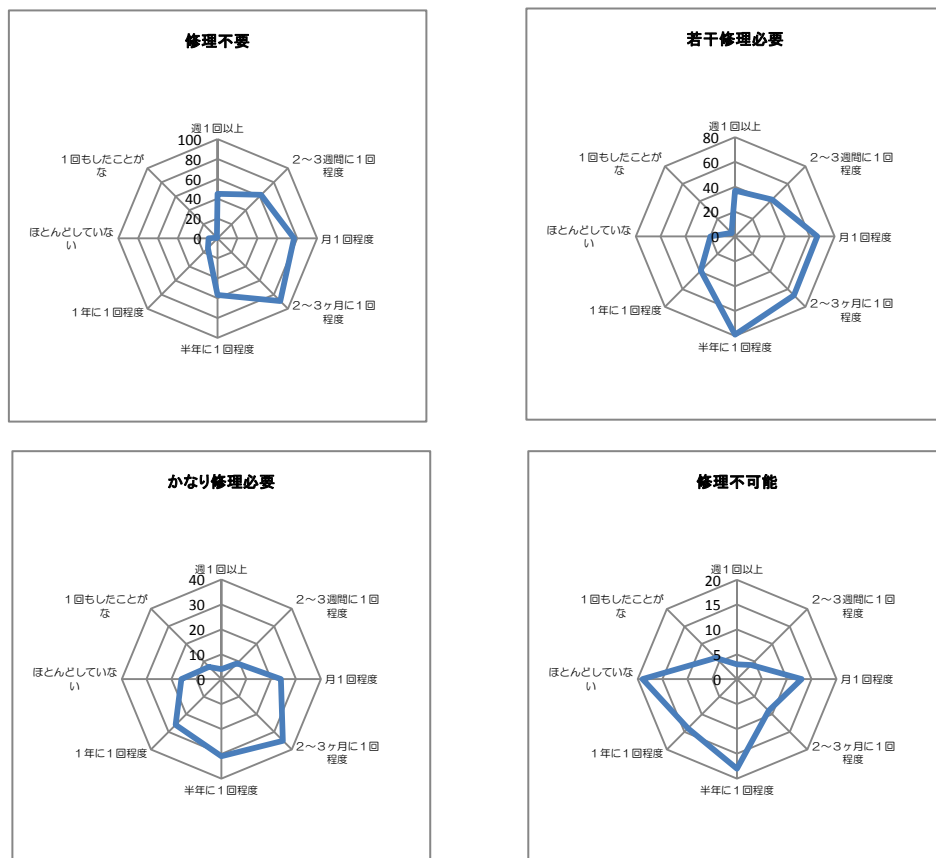
N= 946戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 週1回以上	9.1%	8.0%	10.3%	9.4%	5.0%	12.7%	9.4%
2 2～3週間に1回程度	7.7%	16.1%	11.6%	15.1%	11.8%	13.9%	12.4%
3 月1回程度	18.8%	16.1%	18.1%	20.3%	19.3%	20.0%	19.0%
4 2～3ヶ月に1回程度	20.7%	17.2%	21.9%	21.2%	21.8%	22.4%	21.1%
5 半年に1回程度	23.6%	18.4%	18.7%	19.3%	21.0%	15.2%	19.6%
6 1年に1回程度	10.6%	13.8%	11.0%	8.0%	9.2%	8.5%	9.8%
7 ほとんどしていない	6.3%	10.3%	7.7%	4.2%	7.6%	7.3%	6.8%
8 1回もしたことがな	3.4%	0.0%	0.6%	2.4%	4.2%	0.0%	1.9%

グラフ：市内全域の空き家の維持・管理（草刈り等）の割合



グラフ：空き家の状態別



全体では「週に1回以上」から「半年に1回程度」までが約8割を占めている。
空き家の状態別では、修理が必要な空き家になるほど管理がされていないことがわかる。

9. 空き家の維持・管理の内容

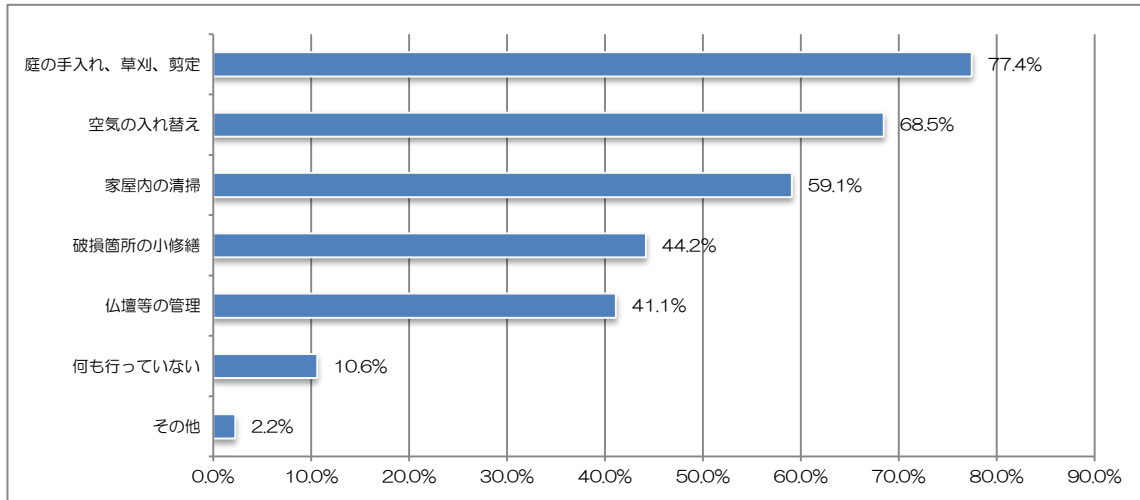
●町別集計

(表中の割合は、「無回答」を除く)

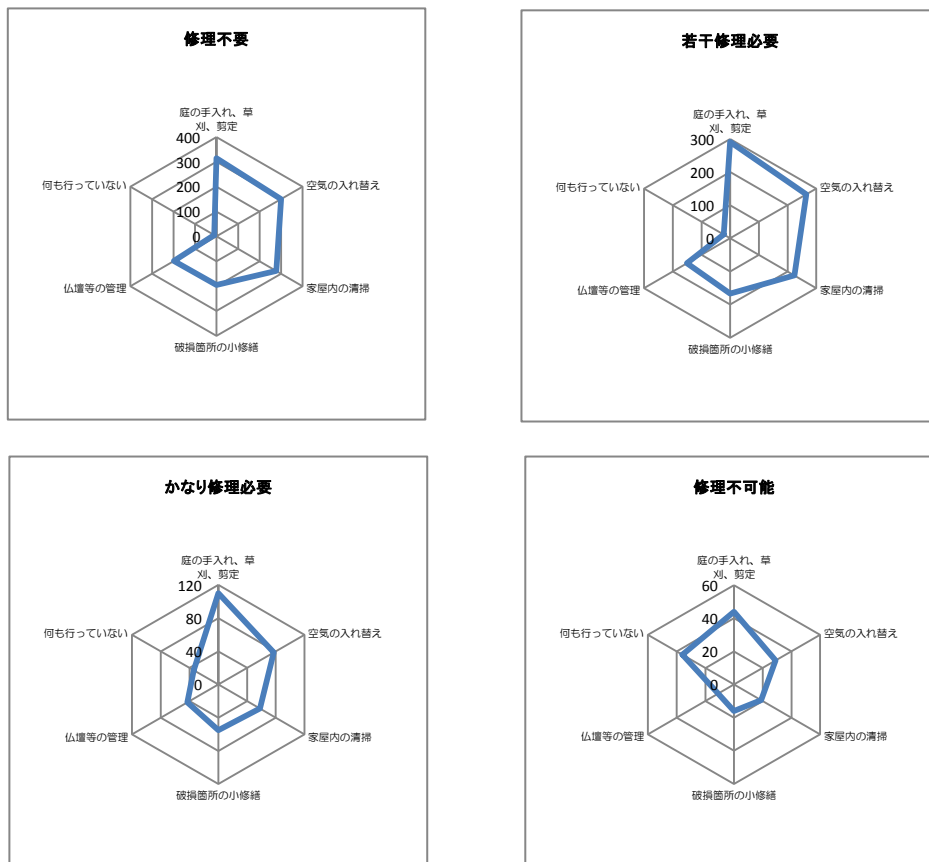
N = 980戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 家屋内の清掃	57.5%	40.2%	62.8%	63.6%	51.7%	67.1%	59.1%
2 庭の手入れ、草刈、剪定	70.3%	76.1%	83.3%	79.5%	73.3%	82.1%	77.4%
3 空気の入れ替え	64.4%	56.5%	73.7%	71.8%	65.0%	73.4%	68.5%
4 破損箇所の小修繕	41.6%	46.7%	44.2%	50.5%	35.8%	43.9%	44.2%
5 仏壇等の管理	35.6%	23.9%	47.4%	46.8%	37.5%	46.8%	41.1%
6 何も行っていない	14.2%	9.8%	7.1%	10.0%	12.5%	9.2%	10.6%
7 その他	0.9%	2.2%	2.6%	1.8%	4.2%	2.9%	2.2%

グラフ：市内全域の空き家の維持・管理の内容



グラフ：空き家の状態別



全体では「庭の手入れ、草刈、剪定」が77%になっており、続いて「空気の入れ替え」が68%となっている。空き家の状態別では、修理が必要な空き家になるほど「何も行っていない」が増加していることがわかる。

10. 空き家の維持・管理について困っていること

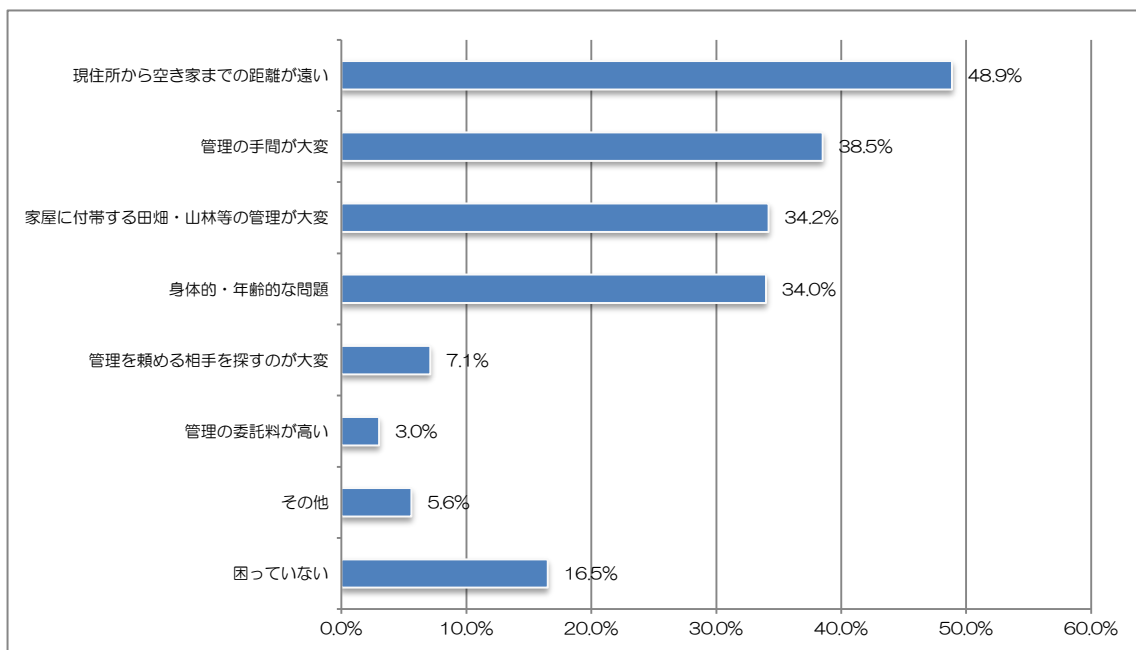
●町別集計

(表中の割合は、「無回答」を除く)

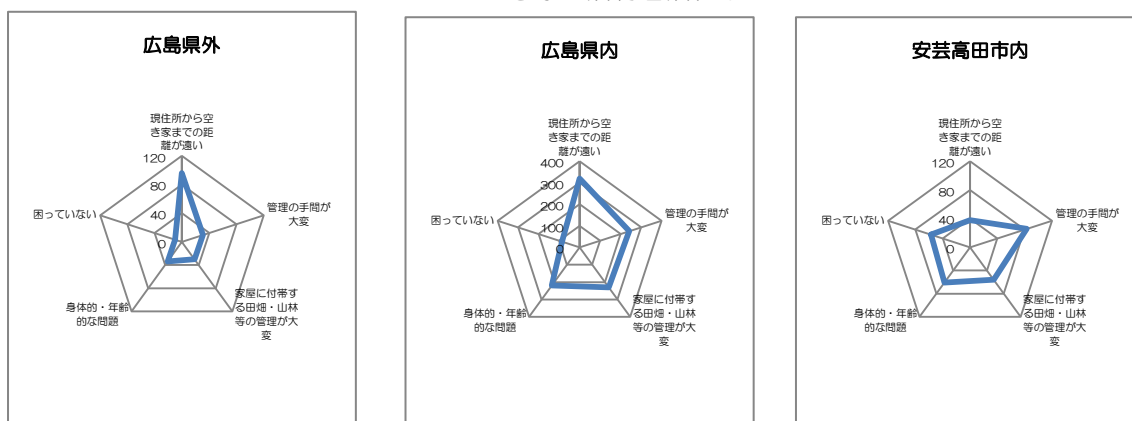
N= 927戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 管理の手間が大変	36.2%	31.3%	38.2%	46.6%	37.2%	36.0%	38.5%
2 身体的・年齢的な問題	31.9%	26.5%	34.9%	36.1%	36.3%	35.4%	34.0%
3 現住所から空き家までの距離が遠い	46.2%	39.8%	54.6%	55.8%	51.3%	41.0%	48.9%
4 管理を頼める相手を探すのが大変	7.1%	3.6%	9.2%	6.7%	5.3%	6.8%	7.1%
5 管理の委託料が高い	2.9%	3.6%	1.3%	3.8%	5.3%	1.9%	3.0%
6 家屋に付帯する田畑・山林等の管理が大変	28.6%	34.9%	34.2%	41.3%	23.9%	39.1%	34.2%
7 その他	5.2%	3.6%	6.6%	3.8%	10.6%	5.0%	5.6%
8 困っていない	19.5%	10.8%	14.5%	13.5%	17.7%	20.5%	16.5%

グラフ：市内全域の空き家の維持・管理について困っていること



グラフ：空き家の所有者所在地別



全体では「現住所から空き家までの距離が遠い」が48%になっており、続いて「管理の手間が大変」が38%となっている。
 空き家の所有者所在地別では、「広島県外」「広島県内」の所有者は、「現住所から空き家までの距離が遠い」が多くなっている。

1.1. 空き家の今後の活用について

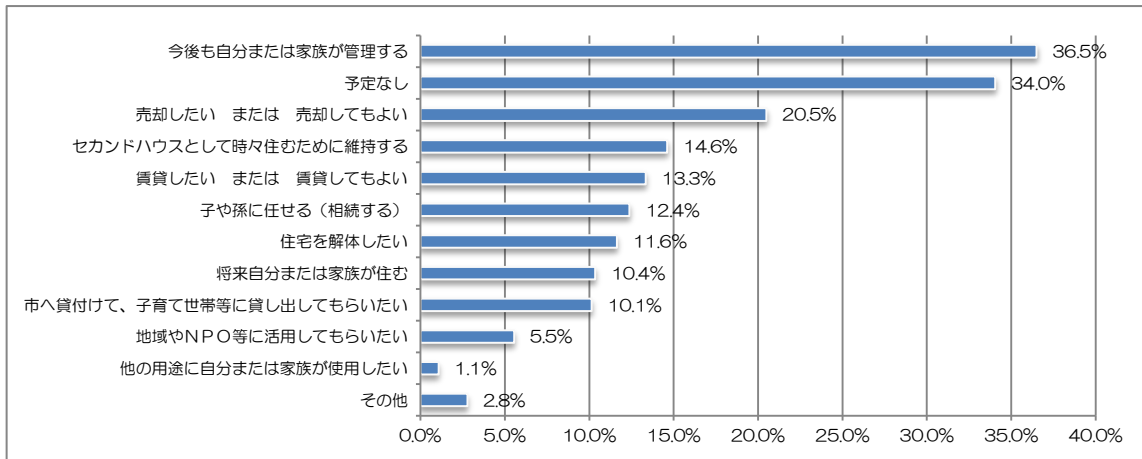
●町別集計

(表中の割合は、「無回答」を除く)

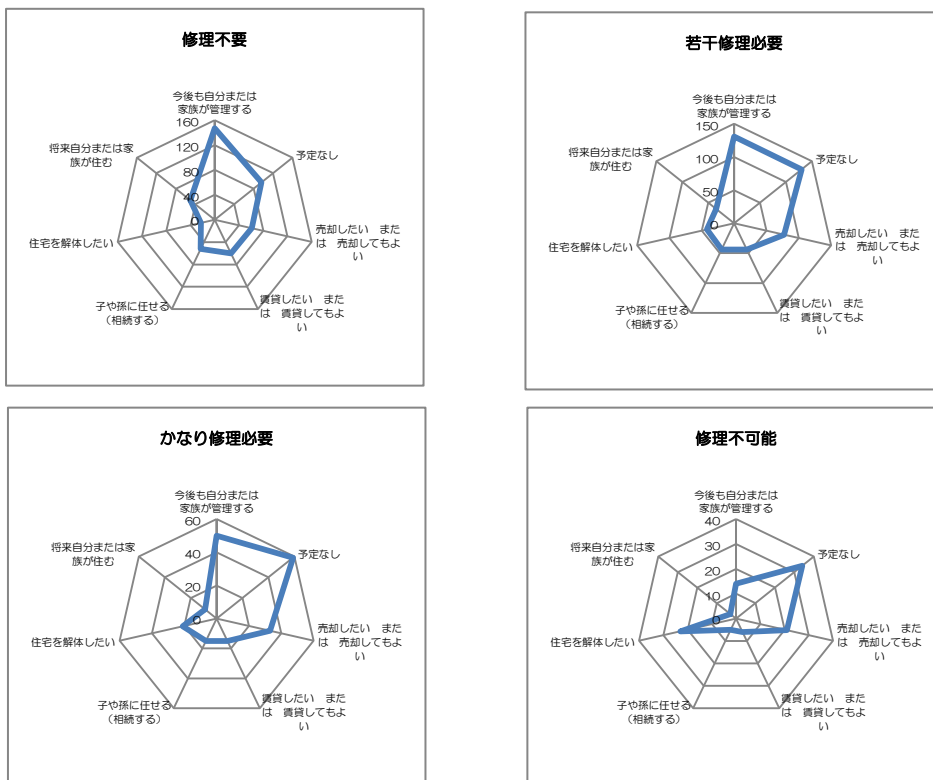
N= 937戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 売却したい または 売却してもよい	27.8%	24.7%	20.1%	12.3%	22.2%	18.8%	20.5%
2 賃貸したい または 賃貸してもよい	13.2%	11.8%	16.9%	10.4%	16.2%	12.7%	13.3%
3 市へ貸付けて、子育て世帯等に貸し出してもらいたい	12.2%	8.2%	13.0%	8.5%	10.3%	7.9%	10.1%
4 今後も自分または家族が管理する	36.1%	34.1%	37.7%	36.5%	34.2%	38.8%	36.5%
5 将来自分または家族が住む	11.2%	8.2%	4.5%	12.3%	9.4%	13.9%	10.4%
6 セカンドハウスとして時々住むために維持する	9.8%	17.6%	14.3%	16.6%	11.1%	19.4%	14.6%
7 他の用途に自分または家族が使用したい	1.5%	1.2%	1.9%	0.5%	0.9%	0.6%	1.1%
8 子や孫に任せる(相続する)	13.2%	10.6%	16.2%	10.0%	7.7%	15.2%	12.4%
9 地域やNPO等に活用してもらいたい	6.8%	2.4%	7.8%	3.8%	7.7%	4.2%	5.5%
10 住宅を解体したい	11.2%	15.3%	13.6%	12.8%	12.8%	6.1%	11.6%
11 予定なし	28.8%	29.4%	35.1%	38.9%	37.6%	33.3%	34.0%
12 その他	2.9%	2.4%	5.2%	0.9%	2.6%	3.0%	2.8%

グラフ：市内全域の空き家の今後の活用について



グラフ：空き家の状態別



全体では「今後も自分または家族が管理をする」が36%になっており、続いて「予定なし」が34%となっている。空き家の状態別では、「修理不要」「若干修理必要」では、「今後も自分または家族が管理する」が多くなっているが、「修理不可能」な空き家は、「予定なし」「住宅を解体したい」が多くなっている。

12. 空き家の今後の活用について、困っていることや心配事

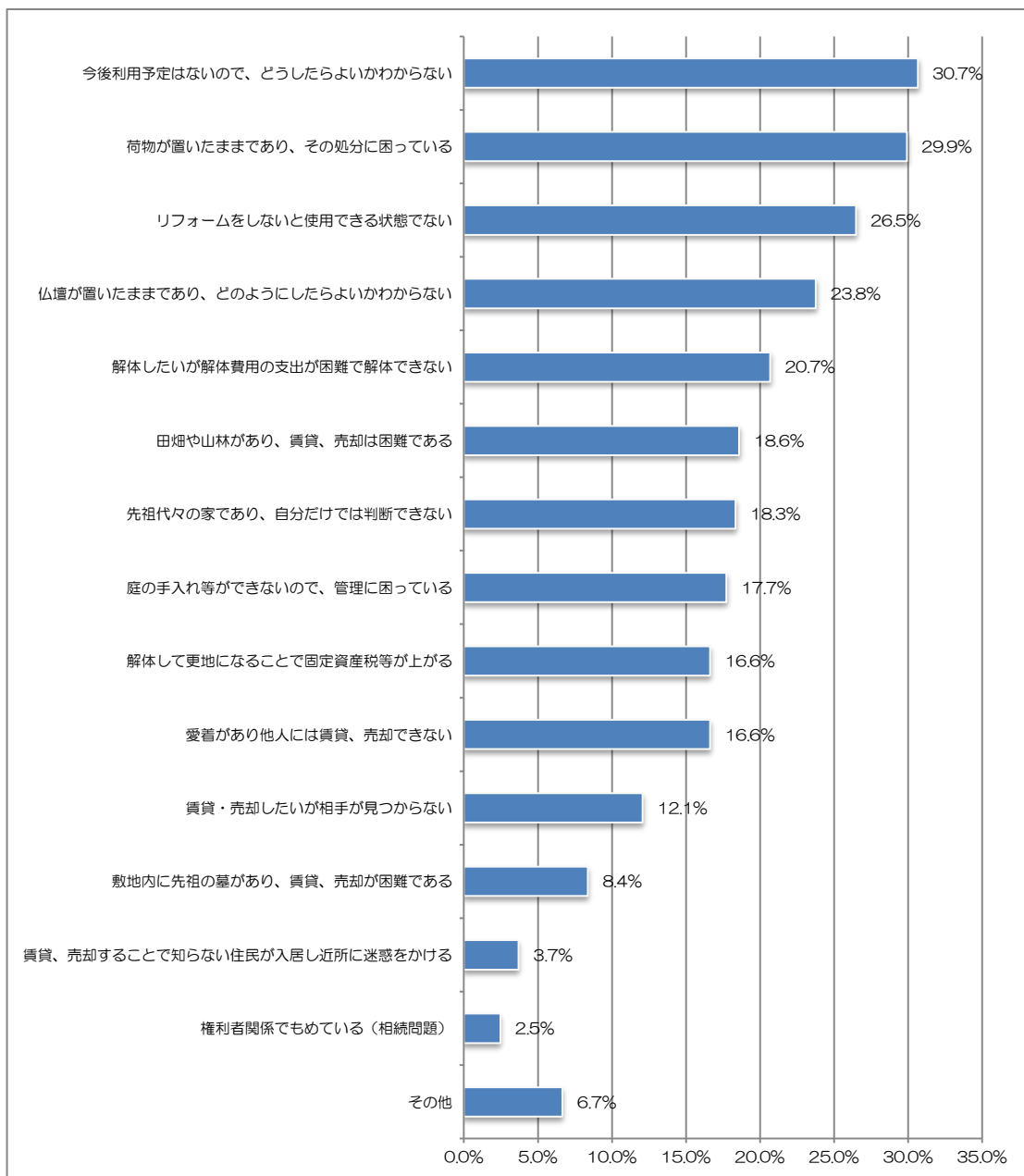
●町別集計

(表中の割合は、「無回答」を除く)

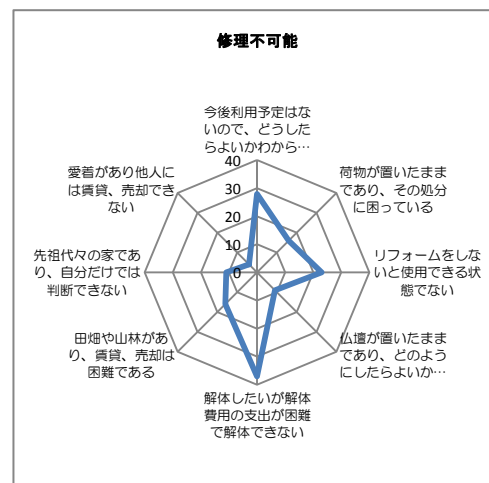
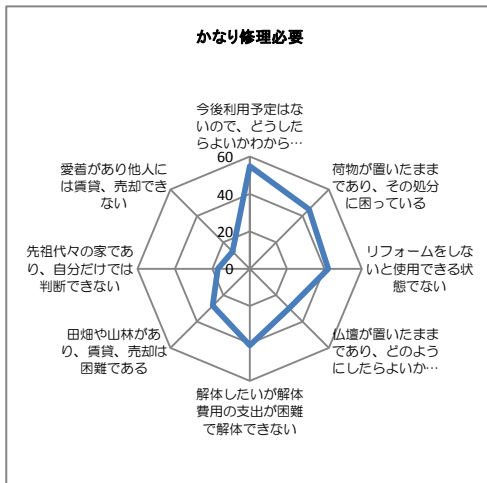
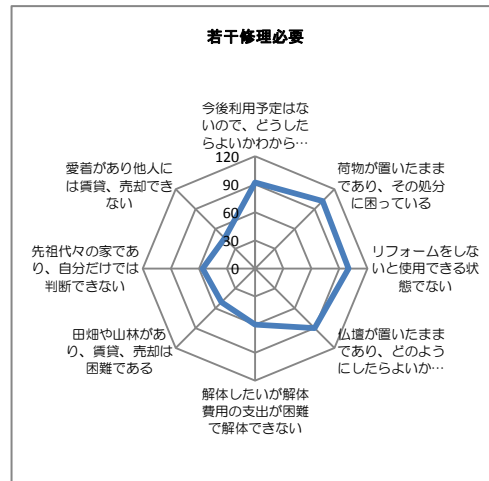
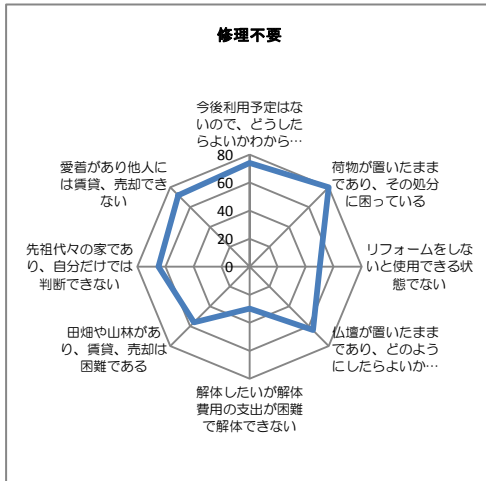
N= 812戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 今後利用予定はないので、どうしたらよいかわからない	30.1%	35.7%	34.8%	29.6%	30.2%	26.6%	30.7%
2 解体したいが解体費用の支出が困難で解体できない	18.0%	22.9%	23.7%	23.5%	25.5%	12.9%	20.7%
3 解体して更地になることで固定資産税等が上がる	19.7%	21.4%	14.1%	14.5%	19.8%	12.9%	16.6%
4 賃貸・売却したいが相手が見つからない	15.8%	12.9%	12.6%	10.1%	9.4%	10.8%	12.1%
5 リフォームをしないと使用できる状態でない	31.7%	27.1%	23.0%	21.2%	30.2%	26.6%	26.5%
6 荷物が置いたままであり、その処分に困っている	29.0%	20.0%	25.2%	34.1%	35.8%	30.9%	29.9%
7 仏壇が置いたままであり、どのようにしたらよいかわからない	18.0%	11.4%	29.6%	27.4%	29.2%	23.0%	23.8%
8 敷地内に先祖の墓があり、賃貸、売却が困難である	3.8%	2.9%	11.9%	16.2%	6.6%	5.0%	8.4%
9 先祖代々の家であり、自分だけでは判断できない	16.9%	8.6%	25.9%	19.6%	11.3%	21.6%	18.3%
10 権利者関係でもめている(相続問題)	2.7%	1.4%	1.5%	1.1%	3.8%	4.3%	2.5%
11 賃貸、売却することで知らない住民が入居し近所に迷惑をかける	2.2%	1.4%	3.7%	3.9%	5.7%	5.0%	3.7%
12 愛着があり他人には賃貸、売却できない	14.2%	14.3%	20.7%	18.4%	15.1%	15.8%	16.6%
13 庭の手入れ等ができないので、管理に困っている	16.4%	21.4%	23.0%	17.3%	15.1%	15.1%	17.7%
14 田畑や山林があり、賃貸、売却は困難である	15.3%	11.4%	25.2%	21.8%	13.2%	20.1%	18.6%
15 その他	9.8%	4.3%	5.2%	3.4%	7.5%	8.6%	6.7%

グラフ：市内全域の空き家の今後の活用について、困っていることや心配事



グラフ：空き家の状態別



全体では「今後の利用予定はないので、どうしたらよいかわからない」「荷物が置いたままであり、その処分に困っている」が約3割になっている。

空き家の状態別では、「今後の利用予定はないので、どうしたらよいかわからない」が「修理不可能」を除いて多くなっている。「修理不可能」な空き家は、「解体したいが費用の支出が困難」が多くなっている。

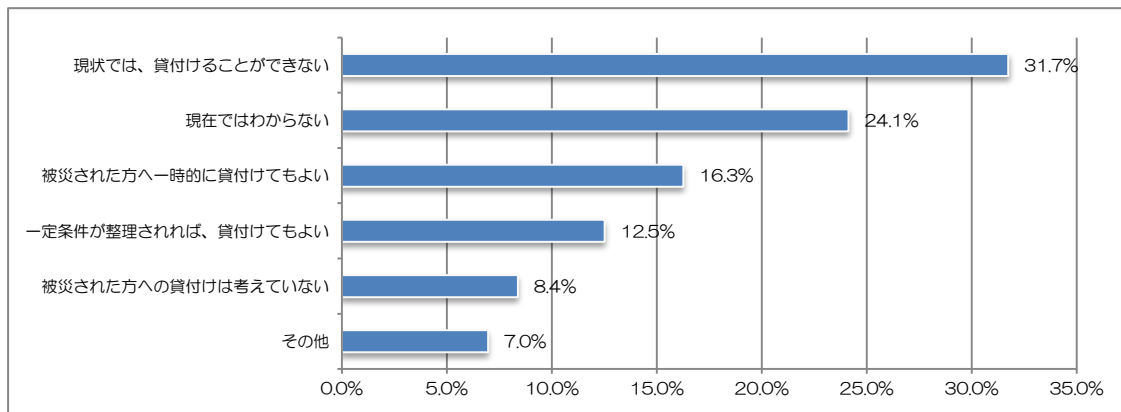
1.3. 水害や地震等で被災された方への住宅提供

●町別集計

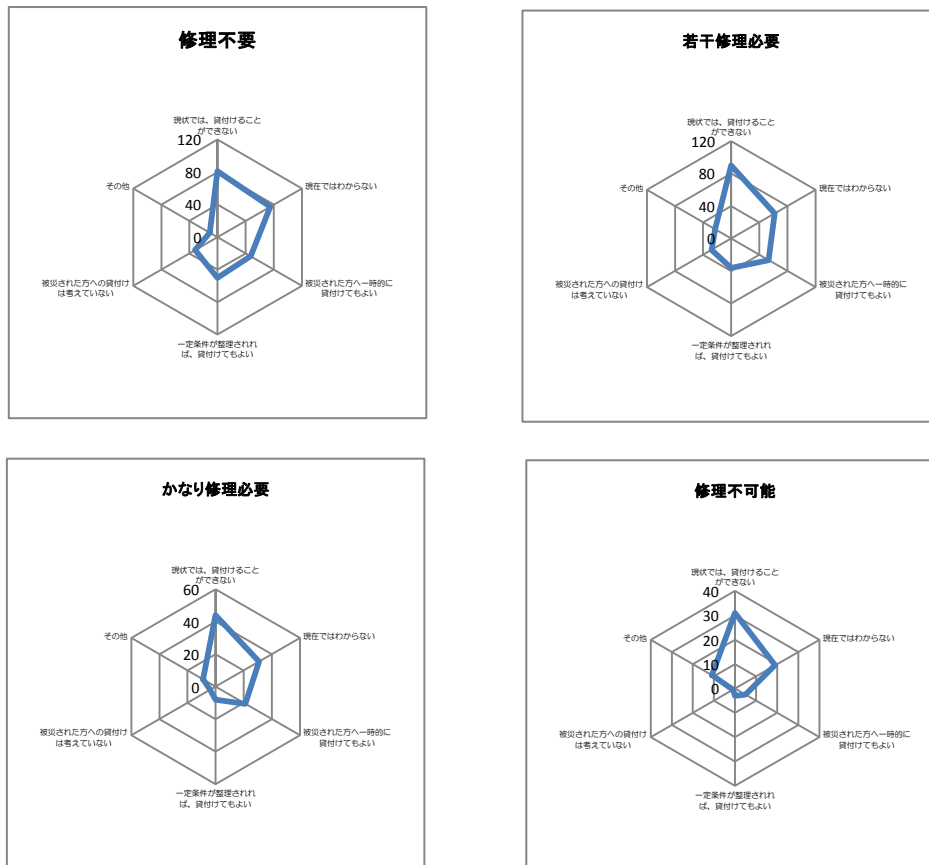
(表中の割合は、「無回答」を除く)

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 被災された方へ一時的に貸付けてもよい	31戸	10戸	23戸	24戸	11戸	27戸	126戸
2 一定条件が整理されれば、貸付けてもよい	17戸	8戸	23戸	21戸	11戸	17戸	97戸
3 現状では、貸付けることができない	56戸	29戸	28戸	54戸	33戸	46戸	246戸
4 被災された方への貸付けは考えていない	12戸	5戸	9戸	20戸	6戸	13戸	65戸
5 現在ではわからない	32戸	16戸	29戸	50戸	26戸	34戸	187戸
6 その他	14戸	2戸	11戸	10戸	10戸	7戸	54戸
合計	162戸	70戸	123戸	179戸	97戸	144戸	775戸

グラフ：市内全域の水害や地震等で被災された方への住宅提供



グラフ：空き家の状態別



全体では「現状では、貸付けることができない」が31%で、続いて「現在ではわからない」が24%になっている。「被災された方へ一時的に貸付けてもよい」と思われる方が100戸以上（その内修理不要約40戸）あり、今後大規模な災害が起こった場合の空き家の活用も考えられる。

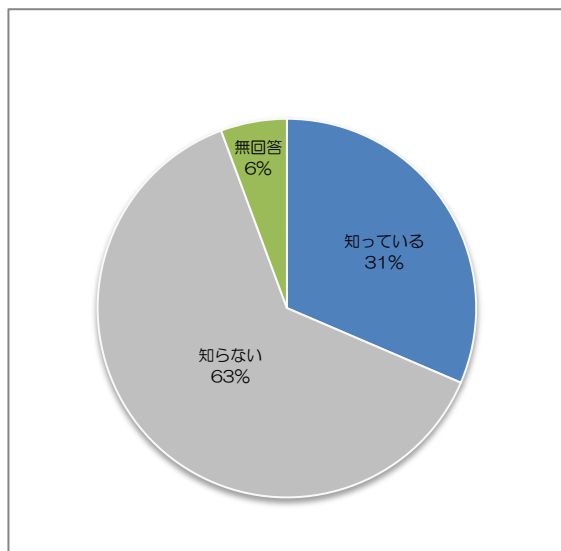
1.4. 安芸高田市空き家情報バンク登録制度を知っているかどうか

●町別集計

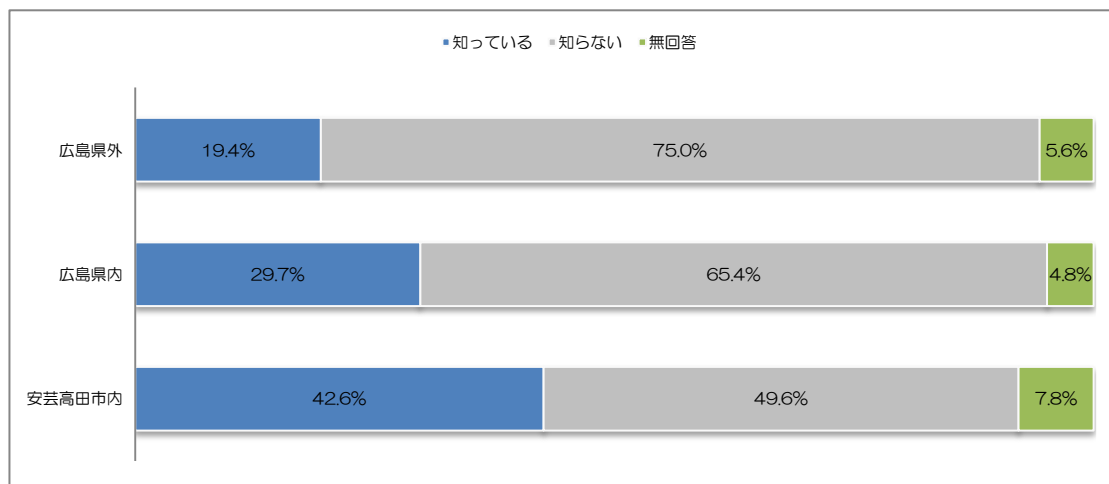
N= 973戸

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 知っている	26.0%	19.1%	34.0%	37.4%	28.9%	36.8%	31.4%
2 知らない	66.2%	71.9%	62.9%	57.0%	63.6%	60.8%	62.9%
3 無回答	7.8%	9.0%	3.1%	5.6%	7.4%	2.3%	5.7%

グラフ：空き家情報バンク登録制度を知っているかどうか



グラフ：所有者所在地別 空き家情報バンク登録制度を知っているかどうか



全体では「空き家情報バンクを知らない」方が63%で、「知っている」方の2倍となっている。
所有者所在地別では、市外、県外になるほど、その周知がされていないことがわかる。
今後においても、空き家情報バンクの周知を図っていく必要がある。

15. 安芸高田市空き家情報バンク制度への登録について

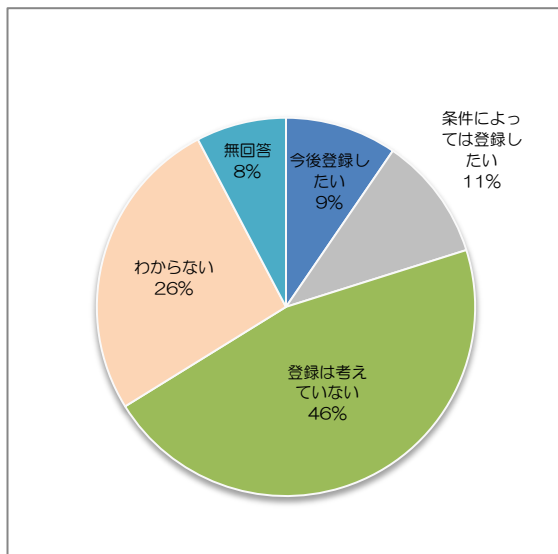
●町別

	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町	全体
1 今後登録したい	27戸	13戸	20戸	14戸	8戸	11戸	93戸
2 条件によっては登録したい	22戸	11戸	13戸	22戸	18戸	17戸	103戸
3 登録は考えていない	91戸	37戸	73戸	110戸	55戸	82戸	448戸
4 わからない	56戸	18戸	46戸	53戸	29戸	52戸	254戸
5 無回答	23戸	10戸	7戸	15戸	11戸	9戸	75戸

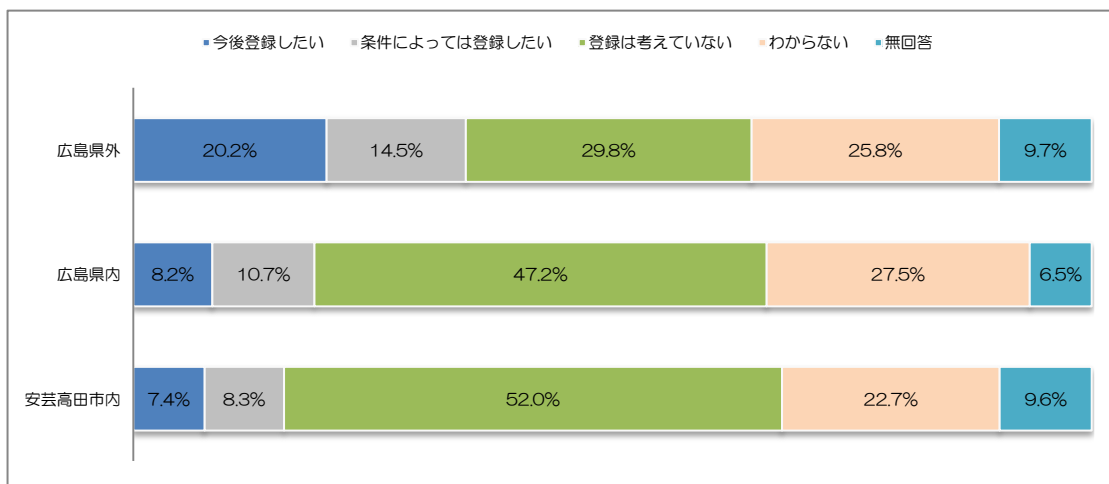
●状態別

	修理不要	若干修理必要	かなり修理必要	修理不可能	全体
1 今後登録したい	33戸	34戸	18戸	8戸	93戸
2 条件によっては登録したい	46戸	37戸	12戸	8戸	103戸
3 登録は考えていない	164戸	169戸	74戸	41戸	448戸
4 わからない	91戸	100戸	43戸	20戸	254戸
5 無回答	26戸	21戸	16戸	11戸	74戸

グラフ：空き家情報バンク登録制度への登録について



グラフ：所有者所在地別 空き家情報バンク登録制度への登録について



全体では「登録は考えていない」方が46%で、続いて「わからない」が26%になっている。
所有者所在地別では、市外、県外になるほど「今後登録したい」「条件によっては登録したい」方が増えている。

ご協力をお願い

平素より本市のまちづくりの推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、全国的に少子・高齢化の進行やライフスタイルの変化にともなって、空き家が増加傾向にあります。国においては「空家等対策の推進に関する特別措置法」が成立し、所有者の方には空き家の適切な管理に努め、市町においては空き家に関する対策の実施等に努めることとされています。

そこで、空き家と思われる住宅等の所有者または管理者の皆様方に対し、その住宅等に関する状況の確認および将来の利用・活用に関する意向をお伺いし、今後の施策検討の基礎資料にさせていただきたいと考えております。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただきアンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成26年12月

安芸高田市長 浜田 一義

調査票の記入について

- 1 ご記入にあたっては、できる限り住宅の所有者・管理者の方がお答えください。
- 2 ご記入の内容は、平成26年12月1日時点としてください。・
- 3 ご記入いただきました内容につきましては、個人情報保護法並びに安芸高田市個人情報保護条例に基づき適切に管理し、目的外に使用することはございません。

ご回答後、平成27年2月27日(金)までに発送をお願いします。

なお、ご不明な点がありましたら、お手数ですが下記までお問い合わせ願います。

安芸高田市役所建設部住宅政策課
住所：広島県安芸高田市吉田町吉田791
電話：(0826) 47-1202

(家屋番号： _____)

該当する番号に○をしてください。

問1 このアンケートにお答えいただく方について、お伺いします。

- (1) あなたまたは関係者が所有、管理していると思われる住宅について確認します。対象住宅の所在地情報等について、下記の内容で誤りがないか確認してください。(1つ選択)
※記載されている内容に修正がある場合は二重線で消して訂正してください。

住宅の所在地	安芸高田市
--------	-------

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 自分または関係者のものである | ⇒(3)へお進みください。 |
| 2 不明 | ⇒この設問で終了です。 |
| 3 ところあたりがない | ⇒この設問で終了です。 |
| 4 売却、譲渡済 | ⇒この設問で終了です。 |
| 5 すでに解体済 | ⇒(2)で終了です。 |

- (2) 上記問1-(1)で、5とお答えした方のみ回答してください。
解体した理由は何ですか。(1つ選択) ⇒この設問で終了です。

- 1 建物が一部崩壊、傾いて危険なため
- 2 土地売却のため
- 3 近隣からの通報や苦情があったため
- 4 誰も利用しなくなったため
- 5 別用途での利用のため (用途： _____)
- 6 建て替えのため
- 7 その他 (_____)

上記問1-(1)で、1とお答えした方のみ、以下の設問に回答してください。

- (3) 対象住宅の建築時期はいつ頃ですか。(1つ選択)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 昭和20年以前 | 2 昭和21年～昭和30年 |
| 3 昭和31年～昭和40年 | 4 昭和41年～昭和50年 |
| 5 昭和51年～昭和60年 | 6 昭和61年～平成7年 |
| 7 平成8年～平成17年 | 8 平成18年～ |
| 9 不明 | |

問2 対象住宅の現状についてお伺いします。

- (1) 現在、対象住宅はどのような状態となっていますか。(1つ選択)

- 1 常時住んでいる ⇒この設問で終了です。
- 2 一時的に住んでいない
- 3 時々過ごすための家(季節限定、正月やお盆などの短期間での利用または長期利用)
- 4 仕事場、作業場として利用
- 5 物置、倉庫として利用
- 6 貸家(入居者あり)
- 7 貸家(入居者なし)
- 8 利用していない
- 9 その他 (_____)

(2) 上記問2-(1)で、2、3とお答えした方のみ回答してください。

対象住宅で過ごす期間はいつ頃ですか。(1つ選択)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 週に1～2日程度 | 2 月に1～2日程度 |
| 3 半年に1～2日程度 | 4 年に1～2日程度 |
| 5 農繁期のみ | 6 お盆や正月の短期間 |
| 7 その他 () | |

(3) 上記問2-(1)で、1,6以外を回答した方のみ回答してください。

イ) 対象住宅に住まなくなったのは、いつ頃からですか。(1つ選択)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 昭和30年以前 | 2 昭和31年～昭和40年 | 3 昭和41年～昭和50年 |
| 4 昭和51年～昭和60年 | 5 昭和61年～平成2年 | 6 平成3年～平成7年 |
| 7 平成8年～平成12年 | 8 平成13年～平成17年 | 9 平成18年～平成22年 |
| 10 平成23年～ | 11 不明 | |

ロ) 対象住宅に住まなくなった理由は何ですか。(1つ選択)

- 1 住んでいた人が死亡したため空き家となった
- 2 住んでいた人が施設入所、入院したから空き家となった
- 3 他所へ住宅を新築・購入し転居し空き家となった
- 4 転勤などで長期不在のため空き家となった
- 5 居住用に取得したが入居していない
- 6 賃借人が転居したため空き家となった
- 7 相続等により取得したが住居者がいない
- 8 相続人が決まらないため空き家となった
- 9 その他 ()

問3 対象住宅の管理についてお伺いします。

(1) 現在、対象住宅の実際の管理はどなたですか。(1つ選択)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 本人若しくは家族 | 2 親族 |
| 3 対象住宅の近所の方 | 4 知人 |
| 5 不動産業者 | 6 誰も管理していない |
| 7 その他 () | |

(2) 対象住宅の維持・管理(草刈り等)はどのくらいの割合で行なっていますか。(1つ選択)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 週1回以上 | 2 2～3週間に1回程度 |
| 3 月1回程度 | 4 2～3ヶ月に1回程度 |
| 5 半年に1回程度 | 6 1年に1回程度 |
| 7 ほとんどしていない | 8 1回もしたことがない |
| 9 わからない | |

(3) 対象住宅の維持・管理について、どのようなことを行っていますか。(複数選択可)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 家屋内の清掃 | 2 庭の手入れ、草刈、剪定 |
| 3 空気の入替え | 4 破損箇所の小修繕 |
| 5 仏壇等の管理 | 6 何も行っていない |
| 7 その他 () | |

(4) 対象住宅の維持・管理について、困っていることは何ですか。(複数選択可)

- 1 管理の手間が大変
- 2 身体的・年齢的な問題
- 3 現住所から対象家屋までの距離が遠い
- 4 管理を頼める相手を探すのが大変
- 5 管理の委託料が高い
- 6 家屋に付帯する田畑・山林等の管理が大変
- 7 その他 ()
- 8 困っていない

問4 対象住宅の今後の活用についてお伺いします。

(1) 対象住宅の今後の活用について、どのようにお考えですか。(複数選択可)

- 1 売却したい または 売却してもよい
- 2 賃貸したい または 賃貸してもよい
- 3 市へ貸付けて、子育て世帯等に貸し出してもらいたい
- 4 今後も自分または家族が管理をする
- 5 将来自分または家族が住む
- 6 セカンドハウスとして時々住む(長期～長期滞在)ために維持する
- 7 他の用途()に自分または家族が使用したい
- 8 子や孫に任せる(相続する)
- 9 地域やNPO等に活用してもらいたい
- 10 住戸を解体したい
(解体後の土地利用を記入してください:)
- 11 予定なし(現状のまま)
- 12 その他 ()

(2) 対象住宅の今後の活用について、困っていることや心配事がありますか。(複数選択可)

- 1 今後利用予定はないので、どうしたらよいかわからない
- 2 解体したいが解体費用の支出が困難で解体できない
- 3 解体して更地になることで固定資産税等が上がる
- 4 賃貸・売却したいが相手が見つからない
- 5 リフォームをしないと使用できる状態でない
- 6 荷物が置いたままであり、その処分に困っている
- 7 仏壇が置いたままであり、どのようにしたらよいかわからない
- 8 敷地内に先祖の墓があり、賃貸、売却が困難である
- 9 先祖代々の家であり、自分だけでは判断できない
- 10 権利者関係でもめている(相続問題)
- 11 賃貸、売却することで知らない住民が入居し近所に迷惑をかける
- 12 愛着があり他人には賃貸、売却できない
- 13 庭の手入れなどができないので、管理に困っている
- 14 田畑や山林があり、賃貸、売却が困難である
- 15 その他 ()

問5 住宅の管理・活用について市に対して要望がありましたらご記入ください。

問6 水害や地震等で被災された方への住宅提供についてお伺いします。

昨今異常気象による局地的な豪雨が発生しております。今後においても、このような災害がいつ・どこで発生するかわかりません。
また東日本大地震に見られるように、今後、南海トラフ地震等による地震災害がいつ起こるかわかりません。
そうした中、水害・地震等で被災された方への住宅提供が大きな課題となっています。

(1) 自ら(親族を含む)が被災を受けた場合を除き、市からの依頼若しくは自らの申出により、被災を受けた方へ一時的(概ね半年程度)に住宅を提供することについてどう思われますか。

(水害や地震等の災害発生は、今後2年以内を想定してお答えください。)

- 1 被災された方へ一時的に貸付けてもよい
- 2 一定の条件が整理されれば、貸付けてもよい
- 3 現状では、貸付けることができない
- 4 被災された方への貸付けは考えていない
- 5 現在ではわからない
- 6 その他 ()

